

令和5年度 市長のタウンミーティング実施報告書（片貝地区）

会場名	片貝コミュニティセンター	日時	10月26日(木) 19時00分 ～20時45分
市側の出席者	市長 村椿 晃 総務部長、産業建設部長、民生部長、教育委員会事務局長、情報広報課長、 地域協働課 協働推進係長、情報広報課 広報広聴係長(司会)		
参加者数	17名	YOUTUBE 動画	視聴者数(最高時点) 11人 チャット(投稿数) 0件



1.市長講話

市長 村椿 晃「自治基本条例・各地域におけるコミュニティセンターについて」
(20分程度 資料に基づき講話)

2.事前質問(地区から事前にいただいた提言・提案等について)

①中山間地域の活性化について（耕作放棄田の利活用、住宅補助などの解決策） (村椿市長)

皆さんと話をし、何を目指していくかを一緒に考えていく、そういう時代だというふうに思います。例えば、若い人に住んでもらうために、家を提供したいといった話があったときに、市役所がその制度を作ってやってください、という時代じゃないという意味です。例えば若い人に安いコストの住む場所を提供できるかを一緒に考えていく、そういうことをしたいと思います。その時に、もちろん我々も一緒に膝詰めでどうしたらいいか、どうやったら提供できるかなどについて考えたいと思います。

また、企業誘致の話は、大事だと思っています。土地など提供できる話があれば、一緒に相談したいと思っています。ただ大きい企業でなくてもいいと思っています。実際に平成28年、市長に私が就任してから、市内に誘致をした企業や、あるいはその拡張した企業全部で20近くありますが、若い人がここで住んでくれるという可能性が広がるよう皆さんと仕組みを組み立てていきたいというふうに思っています。

②指定管理者制度の導入について(設備等の故障、不具合への対応、施設の維持修繕)

(村椿市長)

旧片貝小学校は、2000年に改築されているかと思いますが、現在も羨ましいと思われるぐらいの機能を持っており、維持していきたいと思っています。必要な手はしっかりと加えていきたいと思ひますし、認知度が上がって利用が増えてくると、おそらく設備の増強が必要になってくるというふうに思っています。その時に、どういふ財源を持ってきてどうやるかについて、我々もしっかり考えていきます。きちんと手入れがされて、環境を整えていかないと、評判にもかかわることだと思ひますので、そこはしっかりと意識して、スピード感を持って、設備のメンテなり、修理はしていきたいと思っています。

3.意見交換(地区からの提言・提案等について)

○ 片貝コミュニティセンターの改善についてどのように進めていくのか。緊急の不具合等の場合、利用者の受け入れが難しいこともある。例えば自由に使える交付金などがあればいい。

(村椿市長)

現在、自由度のある交付金については議論を進めているところです。例えば、この施設の場合に、市で予算を組むと予算化のために、時間がかかったり、手続きが多くなることもあるため、例えば地域でやってもらえるような仕組みができないか、といったことについて今検討しています。地域で素早く対応できるような仕組みみたいなものを今検討しています。

○ 振興会の活動、コミュニティセンター化が進んでいてよかったと思ひているが、具体的にどう進めていくのか様子が見えない。丸投げでなく具体的に積極的に予算も含めてかかわっていただきたい。これは要望です。

○ 子育て世帯などが滑川市や黒部市に転出していってしまう人が多い。補助制度など考えられないか。

(村椿市長)

上市町の0円空き家など、若い方の利用が多いと聞いているので、そのような制度を勉強していきたいです。有効利用していただける方策を考えていきたいですし、空き家制度をからめた若い方の応援制度をさらに検討していきます。

○ 片貝山ノ守キャンプ場の充実をお願いしたい。入浴施設がない。

(村椿市長)

キャンプ場を充実させたいという思ひはもっています。森の中で子供が遊べるような、そういうフィールドを作りたい。自然が近くて素晴らしいので、この地域の特色を生かしていきたいです。このコミュニティセンターはその基地になるといえます。このセンターに、IT企業のようなものがオフィスとして来ていただけないか、など考えていることはあります。財源も含め検討していきます。

○ コミュニティセンターにはスポーツ少年団の利用が多く、その場合は保護者も来られる。子どもで50人の場合、保護者は、別のホテルなどに宿泊しないといけない。定員を100人くらいまでの施設とできないのか。そうすれば利用も増えるのではないか。

(村椿市長)

保護者の宿泊ニーズはあると思ひますが、全員宿泊できるような施設整備は難しいです。年間

で何回かのピークに合わせた整備は難しいです。片貝こられハウスとの連携や、食事提供の受け入れも現状を見ながら徐々に進めていく必要があります。

○ 空き家バンクについて。成約が 20 件程度と聞いた。地区に、空き家の状況も聞かれるが、その後どうなっていったのかが見えない。

(村椿市長)

空き家バンクの利用状況が見えないということは改善させたいので、きめ細かい情報共有に努めます。

(産業建設部長)

空き家の実態調査ですが、すべてバンク登録のお願いをしているわけではなく、毎年各地区でそれぞれどれくらいあるかという調査を実施しています。我々から地図を提供して、事情がわかる範囲で、空き家の把握をしていただきます。令和 4 年は、1317 件の空き家を確認しております。令和 3 年は 1320 件でトータルでは 3 件減ってます。単純に減ったわけではなく、空き家が解消されたのが 125 件、新たに空き家になったのは 122 件で、新たに became 方が少なく、トータル的には減っています。傾向を申しますと、大町、村木、本江で市内全体の空き家の大体 4 割。空き家バンクは平成 19 年から取り組んでおまして、平成 19 年からでいいますと、262 件の登録があって、成約が 189 件されています。市は、中に入って紹介をし、その契約は当事者間での話し合いということになります。私どもとしてはこういう空き家になった状態の利活用を進めると同時に、空き家になる前にご家族でお話し合いをして、空き家にならないようにはどうするかということ、日々お話をさせていただければと考えており、セミナーや相談会の開催もしております。

○ キャンプ場は、富山県内でも 1、2 位のきれいなところで利用者も多いが、携帯がつながらずテレビも見ることができない。今後は、富山県の帰農塾をやりたいと考えている。農林水産業体験などを企画したい。来年には首都圏の移住希望者向けのツアーを実施予定。

(村椿市長)

携帯電話の通信不感地帯の問題は認識しています。また、テレビについては、CATV に確認したところケーブルを伸ばすのに 700 万～800 万円程度かかると聞いており、すぐに対応は難しいですが、通信に関しては何とか検討していきたいと考えています。帰農塾を応援しています。

○ 富山県警本部の再編について

(村椿市長)

県警察本部は県の東部と西部にそれぞれ 5 つある警察署を 2 つずつに統合する計画で、入善署、黒部署、魚津署を統合する再編後の新しい警察署の建設候補地は、入善町の中央公園周辺、黒部市の総合公園周辺と国際文化センター「コラーレ」周辺、魚津市の総合体育館跡地の 4 か所となっています。高岡の方の警察署の統合が先に進んでおり候補地は大体決まったとのことで、用地取得なり整備をしていき早くても令和 9 年、10 年という話であり、こちらはその後となります。我々とすれば、魚津の総合体育館の場所は、高速、国道 8 号にも近いのでエリア的には、真ん中ではないかもしれませんがアクセス的には便利ですと伝えていきます。